

返子市立図書館 2017年(平成29年)4月1日発行 vol.15

# マーメイドくらぶ

返子市返子 4-2-10 046(871)5998 (電話案内サービス)

子ども版

## 「グランド・ルートー歴史図鑑 世界を動かした通商と交流の道ー」


20 シ アニック・ド・ジリ文 メルラン絵 野中夏実訳 西村書店

シルクロードを知っていますか。中国からヨーロッパへ絹(シルク)を運んだ古い道です。はるか昔から世界中の人びとが行き交った陸と海の道がありました。香辛料の道、塩の道、黄金の道そして茶の道。その歴史を、カラーイラストやルートマップとともに紹介しています。



## 「ほくらの地図旅行」 BN 44 +

那須正幹文 西村繁男絵 福音館書店

小学五年生のほくとシンちゃんは、灯台のある岬まで二人だけで行くことになりました。電車をおりたあとは地図を見ながら歩きます。方位磁石で方向を確認し、地図記号とまわりのけしきで現在地を割り出しながら進む二人は、 ぶじ灯台までたどり着けるでしょうか。

## 「リンドバークー空飛ぶネズミの大冒険ー」 E 7

トーベン・クールマン作 金原瑞人訳 フロンズ新社

ドイツに住む小さなネズミが、ニューヨークをめざします。それも自分で飛行機を組み立てて…。失敗を繰り返しながらやっと出来上がった飛行機。飛び立とうとすると天敵が次々とおそってきます。それでもネズミはあきらめない！ 細部まで美しく描かれた絵本です。いっしょに空を飛んでいる気分になれますよ。








そうだ！ 旅に出よう！

人類がたどってきた道…  
物がたどってきた道…  
地図を片手に…  
さまざまな旅にかんする絵本や物語を集めてみました。

君はどんな旅がしたいかな？！

『マーメイドくらぶ』って…？

『マーメイドくらぶ』は、子ども版とYA(ヤングアダルト)版を3か月毎に交互に発行しています。テーマごとの本の紹介や図書館からのお知らせなど、図書館と本に関する情報をできるだけたくさんお届けします。

『ジャスカ号で大西洋へ』 91.3 ヤ  
やましたはるおさく たかはだけな おえ ひろんしゃ  
山下明生作 高島那生絵 理論社

主人公はポルトガルの小さな町で育ったハリネズミ・チコ。  
友だちのノウサギを探して大都会リスボンに来たチコは、  
なんと豪華客船で旅することになってしまいます！  
さてさて、どんな出来事が待ち受けているのでしょうか。



『アレハンドロの大旅行』 91.3 キ  
ふくいんかんしょてん  
きたむらえいさく・え 福音館書店

アレハンドロの家族はみんなおしゃべりがだいすき。  
でも、アレハンドロはいつもだまっているので、お父さん  
とお母さんが心配して、アレハンドロを旅に出すことに。  
ちゃんとあいさつをするんですよ、と送り出されたのですが、  
あいさつのタイミングってむずかしい…。



『南極のスコット大佐とシャクルトン』 29 サ  
さ さ き さく ふくいんかんしょてん  
佐々木マキ作 福音館書店

昔まだ南極が未知の大陸だったとき、南極点を目指  
した探検家たちがいました。氷点下の世界、吹き荒れる  
雪の嵐、食べ物は手に入らない…かれらはどうやって  
困難をのりこえたのでしょうか。探検船「インデュラン  
ス(忍耐)号」が巨大な氷にとじこめられた写真ものっ  
ています。



『ほらふき男爵の冒険』 94 ヒ G.A.ビュルガー編  
さいとうひろしぶん え かいせいしゃ  
斉藤洋文 はたこうしろう絵 偕成社

ミュンヒハウゼン男爵はみんなから「ほらふき男爵」と  
よばれています。なぜかという不思議でおかしな冒険の話  
ばかりするからです。ポーランドで神様に会ったり、ロシ  
アではオオカミに追われて馬をひとのみにされ、そのまま  
そりを引いてもらったり…なんて本当でしょうか？  
文中に出てくる「ことわざ」もおもしろいですよ。



『嵐の大地パタゴニア(グレートジャーニー人類5万キロの旅 1)』  
29 セ-1 せきのよしはるちよ こみおしよてん  
関野吉晴著 小峰書店

人類は約500万年前にアフリカで生まれ、ヨーロッパや  
アジアを通過して、南アメリカ大陸まで広がりました。  
その人類の長い長い旅を、南アメリカから逆ルートで  
探検家の関野さんがたどります。台風なみの向かい風を  
自転車で走り、大氷原を41日間かけて歩くきびしい  
旅のなかに、土地の人との出会いがつまっています。



『オルガの世界一周』 E7 ローレンス・フルギニョン作  
かんたん・ぐればん絵 いしづ やく へいぼんしゃ  
石津ちひろ訳 平凡社

まきばの草しか食べたことがない牛のオルガは、広い  
世界をみようとしてとハエと旅に出ました。海をわたり、山をのぼり、  
さばくを歩き、世界をひとまわりしながら、オルガはいろいろな動  
物や食べ物に出会います。オルガが知ったのは世界の広さと、それ  
からもうひとつ、自分のまきばがすばらしいということでした。

